



# なきごえ



1992

8

## New Face



(撮影：永田 健一)

### もくじ

- 2 — New Face シマウマの赤ちゃん
- 3 — 動物と私 11月13日生まれのトラの子(野崎敏生)
- 4 — キツツキのいない島で(山岸 哲)
- 6 — アムールトラの人工哺育(正木時雄)
- 8 — グラフZOO 今年生まれの赤ちゃん
- 10 — 公園花だより
- 11 — ZOO DIARY

### カバーウォッチング

ソウシチョウ スズメ目 ヒタキ科  
*Leiothrix lutea*

日本では昔からポピュラーな飼鳥です。雑居させても仲良くすることから「想思鳥」の名が付きましました。近年、六甲山系に生息しているのが観察されているそうです。

(撮影：長瀬 健二郎)

## ||||||||| 動物と私 |||

### 「11月13日生まれのトラの子」

**巨** 勢金岡という絵の神さまを祭る金岡神社(堺市)で、江戸時代のトラの大絵馬を見て感激しました。躍動的な見返りのトラ。でも目玉がありません。瞳を入ると夜に抜け出して人や家畜を襲うらしい。なるほどと思うほどのでき映えでした。

**ト** ラは美しい。生きているトラはなお美しい。山道でばったり出合ったとして、私などは食べられるだけの存在です。トラには、さかしらのみの生きものの臟腑を食い散らす資格がある。美の権利。いつごろからか、そんな思い入れをトラに抱くにいたっています。

**最** 近、天王寺動物園を訪れたときのことで。トラにはつつい見とれてしまいます。だんだらの縞模様は、何かのごほうびに神さまから授かった衣装のよう。檻の中で腹這いながら前肢を揃えて頭をしっかりと立てていました。遠い遙かの何かを捉えかけている哲学者の顔をしています。

その哲学者が突然、怒り猛ったのです。労務者ふうの人が臀部を竹の棒で突いたのです。咆哮した。牙をむいた見返りトラ。鼻梁を浪打たせて眼をらんらんと光らせ咆えたのです。打算や辭

### シマウマの赤ちゃん

グラントシマウマ  
ウマ目 ウマ科

今年6月中旬にグラントシマウマの赤ちゃんが3頭も生まれました。これは開園以来初めてのことで、シマウマ舎は大にぎわいです。この赤ちゃんは6月15日生まれのオスです。



野崎 敏生さん

(財)小谷城郷土館・評議員

酌といった混りけなど微塵もない怒り、純粋な美しい憤怒でした。いまでもその怒声は、呪文となって脳中をめくるめき、口元に私を誘います。

家で娘にそのことを話したところ、あのときのトラの子だろうかと、問い返してきました。

出問者が小学校に入ったばかりのころ、もう10年ほどになりました。天王寺動物園に連れて来たことがありました。頭の大きくて四肢の太いインドのベンガルトラの子が一頭、檻の中できょろきょろしていました。お母さんから離れているせいか、淋しげにみえました。可愛いなあ抱っこしたいなあを連発していた娘が、解説を見て陽気に騒ぎだしました。見て見て、11月13日生まれのトラの子やねん、誕生日がうちといっしょや。

怒りのトラもベンガルトラ。あのときのトラの子の成長した姿なのかどうかは判らないまでも、そうかもしれないねと、胸を張って答えました。

**子** 供の成長に合わせて、トラの話しをするようになったのは、その10年前からのような気がします。お釈迦さまの前身であったサッタ王子が、わが身を飢えたトラの親子に食べさせるインドの仏教説話やら、我執ゆえにトラに化身した中国の李徴の嘆きやらを。

サッタ王子を食べて生を得たトラは、生まれ変わってマヤ夫人となり、お釈迦さまを産みます。さしずめ、11月13日生まれのトラの子も檻の中の美しい怒りのトラも、マヤ夫人の前身の類系となりましょう。空の広いグランドの方のトラたちは中国のアムールトラ。李徴の末裔かもしれません。

**私** の胸の内には一枚の豆絵馬が掛かっています。目玉をきょろきょろ、11月13日生まれのトラの子絵馬。今日、もう一枚が加わりそうです。いま動物園に、この4月に生まれたばかりのアムールトラの子が檻にいて、呼べば、甘え半分、興味半分で寄ってくるのでした。



1989年から1991年にかけての3年間、文部省科学研究費国際学術調査補助金を得て断続的に3回、延べ13ヵ月ほどマダガスカル島へ鳥類調査に赴きました。

マダガスカルは1億8000万年前までは巨大大陸ゴンドワナの一角をなしていました。その後、マダガスカル島がアフリカ大陸からノアの箱船のようにすでに絶滅した巨鳥エビオルニスの祖先などを乗せて離れたのはおよそ6500万年前であったとされています。こうして、アフリカ大陸の東方、モザンビーク海峡をはさんで400km離れたインド洋上に、面積59万km<sup>2</sup>(日本の約1.6倍)の世界で4番目に大きな島、マダガスカル島が誕生しました。

マダガスカル号という船がアフリカから東に向けて出航したときには、この島には他の鳥類は多分まだ出現していなかったでしょうから、私たちが現在見る鳥たちは、その後、島に移り住んだものに違いありません。すべてというわけではありませんが、大部分はもっとも近いアフリカからモザンビーク海峡を越えて飛来したと考えられています。

アフリカに近いとはいっても、ある程度の個体数がまとまって定着しなければ、ここには住み着けなかったでしょうから、この島の鳥類相はかなり貧弱(252種)で、かつよその地域で普通に見られるいくつかの鳥のグループを欠いています。たとえば、日本の森でもおなじみの樹の幹を利用して生活するキツツキ科はこの島へ渡りそこないました。

たどりついた科数が少ないということは、よその大陸で、ある仲間が占めている生活空間(ニッチ)がマダガスカルでは、がら空きになる場合がありえることを意味しています。飛来した祖先の鳥たちが、こうした空いたニッチを埋めて、その本来の形態や習性を変えてそこへ適応していくこと、これが適応放散です。マダガスカル島で演じられた進化劇は、その舞台装置も役者たちも、よその大陸とは最初からまったく違っていました。ここでは、マダガスカルという白地のキャンパスに、こうした祖先の鳥たちがまったく自由に進化という絵を描いてきたこととなります。

ではキツツキのいないこの島で、キツツキの役割をはたしている動物は何でしょう? 原始的なサル仲間夜行性のアイアイがそれだという説があり、「アイアイ・キツツキ代

理人説」と呼ばれています。私も東北部マナナラという村で、この原猿類を間近に観察する機会がありました。アイアイは世界中でこの島だけに生息する珍獣です。ふさふさとした深い毛でおおわれ、猫くらの大きさで、耳が大きく、尾がキツネのように太くて長いものです。全体が黒っぽく見えますが、よく見ると白髪のような白い毛が交じっており、懐中電灯の光に両眼が怪しく光っていました。そして樹皮の割れ目に指をつっこんでさかんに虫を掻き出していました。

この原猿の最大の特徴は骸骨のような細くて長く鉤のように特殊化した第三指にあります(図1)



世界の珍獣アイアイ。その特殊化した第三指に注意(図1)

もともと、東京大学の岩野泰三さんたちは、アイアイの第三指は虫を捕らえるための適応ではなく、ラミーというクルミのような果実に差し込む適応だと最近発表していますから、「アイアイ・キツツキ代理人説」は少々怪しくなってきました。それならばキツツキの本当の昼間の代理人は誰でしょう。それを探るのが今回の私たちの目的のひとつでした。

この島に、アフリカのカプトモズ類の1種を祖先として14種に種分化したとされるオオハシモズ科がいます(図2)。これは特産科であり、世界でここだけで見られるめずらしい鳥です。14種のうちでクロマダガスカルモズ(BV)だけは、今回の調査で観察することができませんでした。この鳥は極端に生息地が限られ、かつ生息数が少なく、絶滅の危機に瀕しているのかもしれませんが。私たちは、島のあちこちの森林を歩き回り、オオハシモズ類に出会うと、樹のどの部位でどのようなやり方で餌を捕るのかを記録していきました。

その結果を\*ウォード法でクラスタ分析してデンドログラムをつくったところ、13種のうちの7種、ハシナガオオハシモズ(SBV)、シロガシラオオハシモズ(WHV)、クロアゴハシポソオオハシモズ(LV)、シロノドハシポソオオハシモズ(VDV)、クロノドハシポソオオハシモズ(PV)、ベニバシゴジュウカラモズ(NV)、マダガスカルヒヨドリ(TV)が、本来はキツツキが利用する樹の幹や太枝で採食していることがわかりました。とりわけハシナガオオハシモズという奇妙な嘴をした鳥=写真1=は、その湾曲した細くて長い嘴の上嘴だけを樹の割れ目や穴に差し込み虫を

夜間、アイアイは大きな耳で樹の中にひそむ虫の動きを聞き、虫がいるとビーバーのような鋭い歯で穴の入り口をかじって広げ、針金のような第三指を穴の中へピストンのように差し込んで虫を捕らえます。

引っ張り出して食べます。その際、頭を回して下から差し込むので、嘴が湾曲していることはことさら都合よいように見えます=写真2=

アフリカのカプトモズを祖先として、マダガスカル島で適応放散

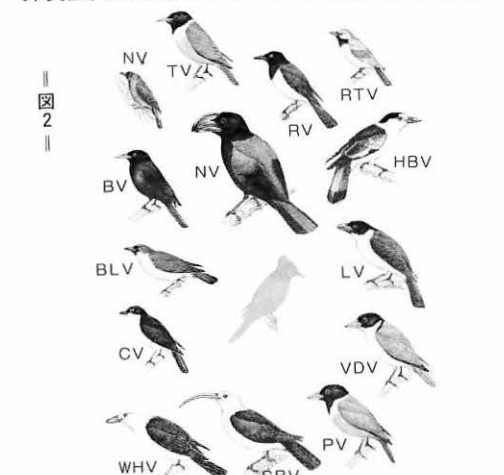


梢で鳴くハシナガオオハシモズ=写真1



上嘴だけを爪楊枝のように器用に使って虫を引き出すハシナガオオハシモズ=写真2

とげたオオハシモズ科は、他の大陸のキツツキ科やゴジュウカラ科などが占めているニッチへ生態的解放(Ecological release)を起こし、それに加えて、広い島の多様な環境を利用して嘴の形態、採食行動を進化させてきたのでしょうか。この島ではキツツキの採食空間はおもにオオハシモズ類によって埋め



アフリカのカプトモズ類の1種(中央影絵)を祖先として14種に種分化したマダガスカル特産オオハシモズ科の鳥たち。RTV: アカオオハシモズ、RV: アカオオハシモズ、HBV: カギハシオオハシモズ、LV: クロアゴハシポソオオハシモズ、VDV: シロノドハシポソオオハシモズ、PV: クロノドハシポソオオハシモズ、SBV: ハシナガオオハシモズ、WHV: シロガシラオオハシモズ、CV: チェバートオオハシモズ、BLV: ルリイロマダガスカルモズ、BV: クロマダガスカルモズ、NV: ベニバシゴジュウカラモズ、TV: マダガスカルヒヨドリ(金尾恵子描く)

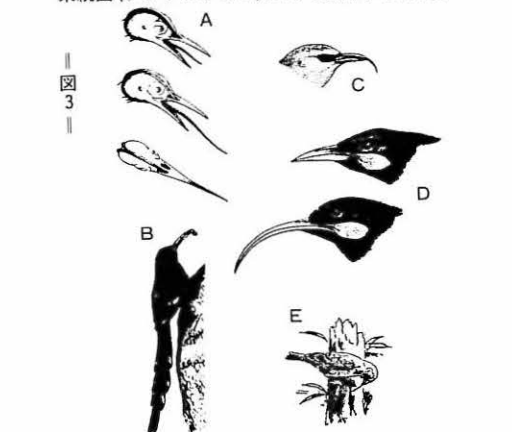
れていると言っよいでしょう。ところで、キツツキとはどういう鳥でしょうか。まず、その名のごとく1) キをツツキ樹に穴をあけます。しかし、これはその中に住む虫を手に入れるための第1段階にすぎません。次に、2) キクイムシなどが樹にうがった坑道にしなやかな舌を深く差し込んで虫を引き出します。キツツキの舌は舌骨と呼ばれる骨と弾力性のある筋肉につながっています。舌骨は顎の下を通って後頭部をぐるりと回って右側の鼻孔に終わっており、左側の鼻孔だけが呼吸に使われます。この一連の装置が頭の後ろを回って滑り出したとき、舌が突き出し虫が捕らえられます(図3-A)。

ハシナガオオハシモズがキツツキの代理人と言っても、こうした2段階のうちの後半部を舌のかわりに長い嘴で代行しているにすぎません。このように、完全なキツツキ型採食種が出現しなかったために、オオハシモズ類の多くの種がキツツキの代理人をそれぞれ不完全に勤めているにすぎないでしょう。

同様の採食法は、アフリカのカマハシ科のミドリモリヤツガシラのやり方と同じでしょう(図3-B)。ハワイ島にはカワリハシハワイミツスイという変わった嘴をもつ鳥がいます。この鳥の嘴は上下で形が異なっています。まず丈夫な下嘴で樹に穴をあけ、ついで細長い上嘴で虫を引き出します(図3-C)。ニュージーランド島には残念ながら絶滅してしまいましたが、ホオダレムクドリというこれまた変わった鳥がいました。この鳥では雄が樹に穴をあけ、雌が細長い嘴で虫を引き出します(図3-D)。さらに、ガラパゴス島にはサボテンフィンチがいます。これは自分の嘴で樹に穴をあけた後、サボテンの刺などを爪楊枝のように使って虫を引き出します(図3-E)。

これらの変わった鳥たちはすべてキツツキのいない島でキツツキのやり方を真似たものですが、そのいずれもがキツツキに特有なあの絶妙な舌の装置は発達させることができなかったようです。

\*編集部注: ウォード法でクラスタ分析してデンドログラムを統計学的に近縁のものを判別し、グループ化して系統図(デンドログラム)として分析する方法。



世界のキツツキの代理人たち。A: 真性キツツキの舌の構造、B: アフリカのミドリモリヤツガシラ、C: ハワイのカワリハシハワイミツスイ、D: ニュージーランドのホオダレムクドリ、E: ガラパゴスのサボテンフィンチ。

# アムールトラの人工哺育

## § 人工哺育のはじまり

4月16日、午前9時頃、トラ舎へはいつてみる  
とアムールトラのメスの寝室内で赤ちゃんが  
2頭生まれていました。赤ちゃんの様子をうかが  
してみるとぐったりとしており動かないので思い  
きってメスを放飼場へ出し、寝室内にはいつてみ  
ました。

**赤**ちゃんは、母親がなめてきれいにしていまし  
たが、触ってみると2頭とも体温が下がり生  
命が危険な状態でした。すぐさま、親仔をはなす  
ことを止むを得ずと判断し園内の動物病院へ収容  
し、ヘッドライヤーの温風でまず体を温めまし  
た。30分ほどすると温まってきたのでしょうか、  
やっと動きをとりもどし、かすかな鳴き声をあげ  
ました。ただちに哺育器へ移し、器内温度を30℃  
に、湿度を83%に調節しました。11時頃に温かい  
ミルクを与えると1頭は30ccほどをおいしそうに  
一気に飲みほしました。おそらく母乳を飲んでい  
なかったのでしょう。この仔はメスでした。体重



人工哺乳の始まり

は1,120g、体長(鼻の先端から尾のつけ根まで)  
は31cmあり、トラの仔としては標準です。以前に  
人工哺育したジャガーの赤ちゃんは体重840gで  
したから、トラの赤ちゃんは少し大きめ、しかし、  
ジャガーの赤ちゃんは生まれたときすでに目が開  
いていましたが、トラの仔は開いていませんで  
した。もう一頭の仔はオスで体重は1,145g、体長は  
30cmでした。しかし、人工ミルクはほとんど飲ま  
ず、カテーテルで強制的に経口給与したのですが、  
翌日、残念ながら死亡しました。メスの方は、オス  
の分も頑張るかのよう非常に元気を取りもどし  
ており、以後の人工哺乳もすこぶる順調に進まし  
ました。

## § アムールトラの飼育展示の経過

**さ**て、話しは少し変わりますが、このアムール  
トラの赤ちゃんの両親は昨年(1991年)の3月28日に来  
園しました。それまではベンガルトラ(ネパール、  
インド、インドシナ半島に生息するトラの亜種)  
のみを展示していましたが、トラの亜種を比較展示  
したいと考え、トラの中でも一番大きいアムール  
トラを導入したのです。このトラはシベリアから  
中国北部を流れるアムール川一帯に生息する亜種  
でシベリアトラとも呼ばれ、現地では非常に数が  
少なくなっており、動物園での繁殖が種保存のた  
めに期待されています。

**オ**スは富士自然動物公園から、また、メス親は  
東京都多摩動物公園から繁殖を目的として借  
り入れました。雄雌ともに6才で性成熟に達した  
ばかり、メスは育児の経験がありませんでした。  
オスは来園当初から落ちついていましたが、メス  
は少々気むづかしいところがありました。お互い  
初対面なので、まず格子越しに見合いを続け、18  
日目に同居させました。同居後13日目に最初の交  
尾行動を確認し、以後何回かの交尾を認めまし  
たが、今年の正月に確認した交尾がうまくいったよ  
うで今回のアムールトラの赤ちゃん誕生となった  
わけです。1月2日の交尾を最終交尾として妊娠  
期間は105日でした。

## § 苦労と楽しみのはじまり

**で**は、人工哺育の話にもどりましょう。人工哺  
育を始めてまず越えなければならないこと、  
それは人工ミルクを飲んでくれるかどうかです。  
哺乳ビンから飲んでくれるればまず一安心です。昨  
年のジャガーの仔のときは猫用の人工ミルク(液  
状タイプ)を使用し、体調が悪かったためかもし



アムールトラの成獣

れませんがしつこい下痢を起してしまっていたい  
へんでした。そこで今年のジャガーの赤ちゃんには  
犬用の人工ミルク(粉ミルク)を使用しましたとこ



ヤンチャ盛りのアムールトラの仔

ろ成育が順調でしたので、今回のアムールトラの  
赤ちゃんにもこれを使おうと決めました。この  
犬用ミルクは栄養バランスと消化吸収性にすぐれ  
ており、子犬の嗜好にもよく合ったミルクですが、  
ジャガーやトラの仔の嗜好にも合ったのでしょ  
う。次はミルクの温度です。温度が高くてはまた低  
くてもダメで、経験上の適温つまり人肌の温度まで  
温めるのが一番良いようです。ちなみに適温は何  
度か計ってみましたら42℃でした。温めた後哺乳  
するまでに少しは冷えますので、少し高い目に調整  
した方が良いでしょう。これに整腸剤のビオフェ  
ルミンとビタミン剤を添加しました。

**さ**あ、飲むべきものを飲んだあとは、そう、出  
すべきものを吐き出さなければなりません。とい  
ってもネコ科の動物の赤ちゃんは、母親が肛門付  
近をなめる刺激を受けて排便するので、人工哺育  
の場合はその役目を人間がやらなければなり  
ません。人がなめるわけにはいきませんので、ぬ  
るま湯にひたした脱脂綿で肛門付近をこすります。  
これがまた大変で人間が変わると、コスリ方やそ  
の強さなどが微妙に違うのでしょうかトラの仔は  
不快感を表わし、なかなか排便してくれません。  
私が休みの日、獣医が排便を促す作業をしました  
がついに、この時は50%グリセリン水で浣腸  
しなければならませんでした。もちろんトラの仔  
は浣腸を嫌がって咬みつくなど抵抗したそうです。  
さておきトラの仔は、誕生当日には胎便(母体  
の中にいるときたまった便)を、2日目にはミルク  
便(飲んだミルクの不消化物)を排泄し1日5回の  
哺乳を順調に受けつけてくれました。1日5回の  
哺乳は生後23日目まで、以後、離乳食を開始する  
まで1日4回としました。

## § 離乳開始

**さ**て離乳食の始まりです。以前、ベンガルトラが  
出産したとき、まだ小さい仔が、親に与えた餌  
を食べようとした際に母親はこれを取り上げ食べ  
させませんでした。消化管が受けつけないのです。

仔が餌を口にするのをゆるしたのは生後50日目  
頃でしたので、今回のアムールトラの赤ちゃんの  
離乳食の始まりとして生後48日目に初めてミンチ  
状の鶏肉を少量与えてみました。翌日、異常がな  
かったのでこの日から、1日4回の哺乳のうち1  
回は、ミンチ状の鶏肉100gを混ぜて食器で与え  
ました。歯は、生後21日目に上側、23日目に下側  
が生え出していますが、鶏肉は、ほとんど咬まず  
ミルクといっしょに丸飲みするので、のどに詰ま  
らないようにミンチ状にするのです。食欲は旺盛  
で離乳食給与もうまくゆき、病気もせず、この赤  
ちゃんは、排便させることに少々苦労したことを  
除けばほとんど順調に育ってくれました。病気と  
いえば、もし感染すれば非常に死亡率の高い伝染  
病があるので、生後43日目に三種混合ワクチンの  
1回目の接種を行いました。



草むらに潜むのは本能か

## § 入園者へお目見え

**も**はや離乳食への切りかえが順調に進み、体力  
もつき、病気予防も実施してよいよ出番、  
つまり待望の入園者へのお目見えを生後57日目に  
行いました。名前は、在阪の阪神タイガースの熱  
烈なファンである職員が考えた「勝代」に決まり  
ました。待望といえ、展示場へ出すようになって  
2日目(生後59日目)にやっと自力排便してくれ  
ました。

生後65日目に2回目のワクチン接種を完了し、  
現在は、展示場と寝室との間を、園路を歩かせて  
移動していますが、後を付いて来る姿を見ると  
生まれたとき以上に可愛いもので、この時ばかり  
は育仔にかかる手間が楽しみに変わります。生ま  
れて約1週間後、目は開いていないが耳は聞こえ  
るようで手をたたくとその音に反応したこと、生  
後10日目頃にやっと目が開いたこと、哺乳のとき  
手や腕にツメを立てるので嫌がるのを無理にツメ  
切りしたこと、そして、じゃれ遊んでいるつもり  
が小さな歯で咬まれて痛かったことなどいろいろ  
ありました。トラの仔は猛獣の資質を持っていま  
した。今は制御できますが、さわれない日がいつ  
来ます。しかしその時は、猛獣として、孤高た  
る風格をそなえてくれていることでしょう。

(飼育課:正木時雄)





カリフォルニアアシカ (4日齢)  
6月10日に生まれ、生後4日で初泳ぎし、只今休憩中。



アムールトラ (生まれた日)  
母親にめんどうをみてもらえず、さうから飼育係のおじさんにごやっかいになっています。



バーバリシープ (7~10日齢)  
3~4月に生まれた子供たち、7頭がすくすく成育中。



ニジキジ (14日齢)  
4羽ふ化し、いつもお母さんのあとをついて歩いています。

# グرافZOO

## 今年生まれの赤ちゃん

今年は6月末までの6か月間に、34種150点もの動物たちが生まれ、そのほとんどが元気に育っています。今回はその赤ちゃんたちのかわいい姿をカメラにおさめてみましたのでご覧ください。

(撮影:森本 委利)



シシオザル (3日齢)  
6月10日生まれ、母親の乳首にしゃぶりついているところ。大人になれば、私も色黒になるのね。



グラントシマウマ (1日齢)  
今年は6月に3頭も赤ちゃんが生まれました。



ジャガー (42日齢)  
おてんば娘"ナナちゃん"。うんこは飼育係のおじさんに手伝ってもらっています。



マントヒヒ (20日齢)  
今年2頭目の赤ちゃん、5月5日生まれ。端午の節句に生まれましたが、女の子でした。



# 公園 花だより ⑦

## ★ 河底池、水生花園、茶白山

天王寺公園北東の隅に“茶白山”がありその南に“河底池”があります。

“河底池”は面積が約10,000㎡で、その東の端に“水生花園”があり、池の中ほどには朱塗りの

日本風の“和気橋”がかかっています。この橋からみる通天閣は昼夜、季節を問わず格別です。7月から8月は天王寺公園は夜間開園していますので、



河底池の中央にかかる“和気橋”夜景を楽しんでいただくことができます。

秋から冬、初春にかけてカルガモが多いときには50羽以上渡ってきて、町の中とは考えられない優雅な風景を見ることができます。池にはカルガモのほかにも冬にはカイツブリやカワセミも観察されています。また、鯉、鮒、そのほかの小魚などの姿が見られる時もあり、そんな魚をもとめてゴイサギやアオサギがやって来ることもあります。また、カメが集まって甲干しをしているのどかな風景に出会うこともあります。

池に流入する水は主に雨水と地下水ですが、日照りが続く時には南にある日本庭園である“慶沢園”の池の水を補給することもあります。

5、6年前まではボートの貸し出しが行われており、この季節には暑さをしのぐため、水面にボートを浮かべ涼を楽しむ若いカップルやお年寄りなども多くあり、夏の風物詩のひとつでした。今



“水生花園”より通天閣をのぞむ 植物を楽しむことができます。水生植物といっても様々ですが湿地に生えるもの、水に浮かぶ浮葉性のもの、ショウブ類のように水の中に生える抽水性のもの、食虫植物など30種以上を楽しむことができます。昨年6月に植え付けを行い、定植してから1年が過ぎ今年にはミズカンナ、温帯スイレン、アスチルベ、食虫植物などが美しい花を咲かせました。

### “茶白山”

は古墳で“河底池”は外周の堀と考えられており、大阪府の史跡に指定されています。数年前に古墳であるかどうかを調べるために試



験的に発掘調査をしたことがありますが、古墳である証拠は見つかりませんでした。徳川家康の本陣跡が見つかっています。古墳であるかどうかは別にして茶白山はクスノキ、エノキ、ムクノキなどのおおきな木が繁っており、貴重な緑を市民の皆さんに提供しています。天王寺公園の入園者もここまで足をのぼす人はあまりありませんので都心とは思えない静けさの中でちょっとした森林浴気分を味わうことができます。

“茶白山”の東側には1、2点ですが子供から大人まで楽しむことのできる木製の遊具も設置しています。ここからは一心寺、四天王寺方面に出ることのできる出口専用門も設置されていますので、今度天王寺公園を訪れた際には、一度“河底池”から“茶白山”にもお越しください。

(管理課：山元 貞 幸)

### 水生花園の植物一覧

☆湿地性	☆浮葉性	☆抽水性	☆食虫植物
ハナショウブ	ホテイアオイ	斑入りショウブ	サラセニア
ミツハギ	アサザ	斑入りセキショウ	モウセンゴケ
ミズカンナ	ハス	ミズバショウ	コモウセンゴケ
サクラソウ	コウホネ	カキツバタ	ヨツマタモウセンゴケ
アスチルベ	ヒツジグサ	キショウブ	イトバモウセンゴケ
サワギキョウ	ミズヒナゲシ	チャショウブ	ハエトリグサ
ザゼンソウ	オニバス	ミズトラノオ	
ミズギボウシ	温帯スイレン	ハンゲショウ	

6 / 1. 外気温が20℃を越えるようになってきたので、ペンギン3種(オウサマ、イワトビ、マカロニ)計11羽を冷房室に移しました。

6月2日 ヒツジの毛刈りを実施しました。6



月は衣替えの季節にあたりますが、ヒツジたちも梅雨時期の健康保持と夏を涼しく過ごせるように毎年6月初めに毛刈りを実施しています。

6 / 3. ボブキャットのオスが右前足を切ったので麻酔して手術をしました。

6月4日 タヌキの赤ちゃんを2頭保護したので、人工哺育をはじめました。このタヌ



キは神戸市の六甲ケーブルの付近の建設現場で鳴いているところを発見されたもので、この子たちがいた巣の近くで、おそらく親とおもわれる大人のタヌキが死んでいるのが発見されています。

6月10日 カリフォルニアアシカの赤ちゃんが



1頭生まれました。母親の“ハイジ”は、当園生まれで13歳。今回は7産目で、子育てはうまくこれまでの子供はすべて順調に育っています。今年の赤ちゃんはメスでへその緒が自然にきれず、強制的に切りました。

6 / 10. シシオザルの赤ちゃんが生まれました。

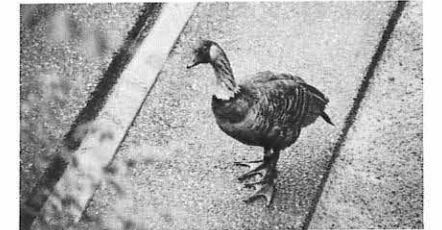
6 / 14. グラントシマウマの“トモ”がオスの赤ちゃんを1頭生みました。

6 / 15. グラントシマウマの“ノリコ”がオスの赤ちゃんを生みました。ニホンザルが1頭生まれました。

6月18日 近親交配を防ぐためハワイガン2羽を仙台市八木山動物公園生まれのものと交換していただきました。当園では、昭

今月もおもしろ情報満載

# ZOO DIARY



和52年からハワイガンを飼育していますが、平成元年に初めて人工ふ化に成功したのを皮切りに、翌年から毎年、親鳥がじょうずにヒナを育てています。

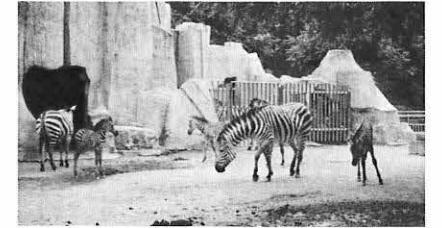
6 / 19. キーウイのオス“キオト”とメス“ブクヌイ”の3回目の同居を試み、夜間観察を実施しました。

6 / 21. 第85回動物のお話とスライドの会で「今年生まれた赤ちゃん」のお話をしました。

6 / 23. ニホンジカのメスが1頭生まれ、これで今年生まれの子供は、計5頭になりました。

6 / 26. ふれあいトーク“あすのおおさか”と題して西尾大阪市長が、当園レクチャールームで天王寺区民から選ばれた27名の方々と対話しました。

6月27日 グラントシマウマの“キャンディー”が赤ちゃんを1頭出産しました。これで今年生まれたシマウマの赤ちゃんは計3頭となりました。グラントシマウマは、大



正15年から飼育していますが、繁殖は昭和37年からで、これまでの年間最高繁殖数は2頭で、赤ちゃんが3頭も生まれたのは開園以来初めてのことでです。

☆テレホンサービス：771-9999

☆お知らせ

●動物園のおじさんの話 “ゾウガイド”  
日時：8月16日(日)、午後1時～2時  
場所：ゾウ舎前

愛ある暮らし、応援します。

# Kintetsu

近鉄百貨店

DEAR LIFE BOOKS



## 生態・飼育・図鑑が一つの本の 中にギッシリ

中川道朗・岩合徳光/監修  
B5変型判・オールカラー  
定価600円

動物園で暮らす様々な生き物達、自然の中ではどんな暮らしをしているのか？動物園での世話の仕方は？仲間とは？など、写真と精密イラストをまじえ紹介します。

くらしかいかたシリーズ<既刊本>  
B5変型判・オールカラー・各定価580円

### むしくらしかいかた

野山でみかける身近な昆虫たち  
250種を紹介。

### ちいさいきものくらしかいかた

昆虫以外の小さな生き物を320種紹介。

お求めは、お近くの書店で。 ひかりのくに株式会社 本社/〒543 大阪市天王寺区上本町3-2 ☎06-768-1151代表

オートフォーカスカメラに

# フジカラー SUPER HG 400

ピントが合いやすいフィルムです



## カラの大林

桜橋本店 ☎341-8091  
阪急三番街店 ☎372-5031  
OHVAC店  
（ギャレ大阪） ☎346-7606

全国の愛犬家の共感を呼ぶ無比の愛犬歌集

絶賛四版

# 歌集 犬の歌

平岩米吉著

著者が、約四十年の間に、共に暮らした七十余頭の犬の生と死を歌った四百十九首を収録。同時に、その誕生より老齢に至る写真四十七図を収めた、犬の一生の生態写真集でもある。

天金・美装箱入  
B6判・270頁  
3000円・千不要

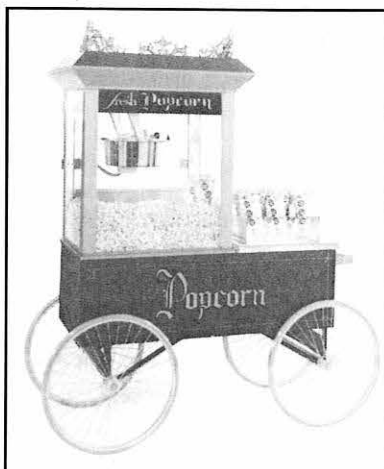
### 《感動の言葉》

- ☆ この歌は愛犬と異体同心の境地である。（英文学者）
- ☆ 人として注ぎ得る愛情の極致を示している。（動物研究家）
- ☆ 一首ごとに、ことごとく魂にひびく歌です。（動物愛護家）

●本書は、書店ではお買い求めになれません。直接当会へお申し込みください。

〒152/東京都目黒区自由が丘3-12-2 動物文学会 電話(03)717-1659/振替・東京5-9800

# マスターのポップコーン



〈営業品目〉 製造機械・保温機 他  
生コーン・袋詰ポップコーン・原材料一式

(株)増田食品 〒561 大阪府豊中市穂積1-10-30  
TEL (06) 865-0165

新作

貸出用ビデオ「楽しい天王寺動物園」  
19分(10本常備)

## 天王寺動物園の本

入園の記念・手引に……

- 対象/保育園・幼稚園・小学校の先生
- 貸出期間/10日間
- 貸出料/無料(但し郵送料480円は必要)
- 申込先/当協会まで手紙かハガキでお申込下さい。

コアラテレホンカード(限定販売)  
好評発売中 ¥800(50度用)

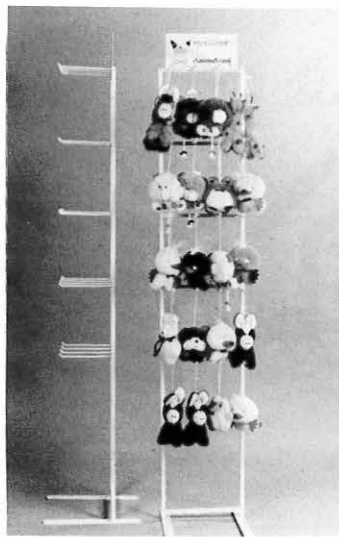
オールカラー

500円 園内売店にあります。



大阪市天王寺動物園協会 〒543 大阪市天王寺区茶臼山町6-74 ☎(06)771-0201



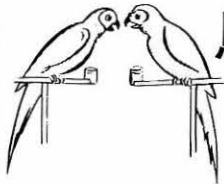


# 動物ぬいぐるみは 子供のゆかいなお友達

各種ぬいぐるみ企画・製造・卸

有限会社 **アニメランド**

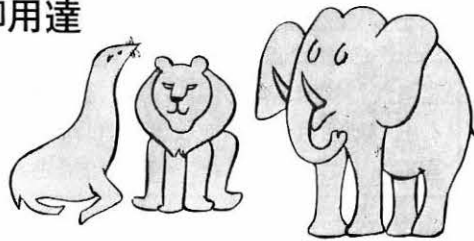
〒547 大阪市平野区西脇4丁目5番22号  
TEL: (06) 704-8580  
FAX: (06) 704-8565



## 鳥獣輸入

全国動物園水族館御用達

- ・医学実験用動物
- ・宣伝用、テレビ用、貸動物
- ・原色世界雑類図鑑(34種1枚もの)要郵便券250円



## 有限会社 吉川商会

本社 神戸市中央区中山手通3丁目11番4号  
飼育場 兵庫県小野市来住町1513番地

電話(078)221-8195(代)

### たのしい動物のお話は、 ガイドマシン(動物説明機)で、どうぞ!!



園内、主要動物舎  
30数カ所にあります

関西特機株式会社  
電話 06-762-2333  
1回 20円

### 動物園内での お食事、 ご休憩は

動物園内.....

## 中央売店

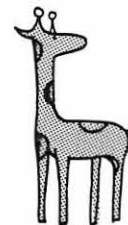
TEL 06-771-0973



### お食事・飲み物・おみやげ 動物園内 南園売店 TEL 06-771-7110



### 園内でのお写真は... 動物園協会指定写真部へご用命下さい!!



◎随時係員が待機して  
おりますのでご説明  
に伺いました際は、  
よろしくお願ひ致し  
ます。

### カラー写真 キャビネ1枚 500円

撮影無料にてキャビネ1枚をサービスさせて戴きます。  
撮影予約も受付しておりますのでご連絡下さい。

国際航空写真株式会社  
TEL 06-856-7444





Our Yogurt has fruity  
and rich texture!!

“生イキヨーグル”と  
覚えてね。



新発売

いほりたてミルクのおいしさが、生きている。

雪印  
**ヨーグル**

希望小売価格 130g/各120円 250g/各220円(税別)



HIJIRI-KOJIMA

一日  
愉快地  
たのしめる!!



◎園内3ヶ所(南園高架下・北園中央デッキ北側・北園高架下)に各種のりものがあります。

久竹娛樂株式会社  
TEL(06)541-3938(代)

なきごえ 1992年8月10日発行(毎月10日発行)第28号 第8号 (通巻324号)

編集/大阪市天王寺動物園事務所  
発行人/大阪市天王寺動物園協会 土井良彦  
印刷所/株式会社 松村善進堂 定価150円(送料共) 1年継続(12部) 1,650円(送料共)

〒543 大阪市天王寺区茶臼山町6-74  
電話 大阪 (06) 7 7 1 - 0 2 0 1  
振替口座 大阪 3-3 7 8 2 3

編集委員 (中山良三郎/村上昭/中尾啓一/樽本 勲/中川哲男/吉本昌俊/山根和弘/大谷直樹/宮下 実/長瀬健二郎/榊原安昭)  
森本委利/竹田正人/永田健一/前田 茂/大野尊信/野口秀高/早川 篤/堀内智生/大川光雄/土谷正道/山元貞幸)